

# 行政評価シートの見方

※行政評価シートは、以下の例の要領で、1つの事務事業につき1ページにわたって記載しています。

・総合計画は「基本目標→政策→施策（施策分類）→事務事業」の順に体系立てて整理されています。  
 ・当該事務事業がこの政策体系のどこに位置づけられているかを表しています。

・「長岡京市第3次総合計画第3期基本計画」で重点テーマとされる3つのテーマのうち、当該事務事業が関連するテーマ。

・評価の対象となる事務事業の名称。  
 ・行政評価は、ある施策に対して、その目的を達成するために特に有効であるとされる事務事業（実施計画事業といいます。）を対象にしています。

・当該事務事業の目的。

・当該事務事業の内容。

・当該事務事業の進行管理のために設定された目標指標。  
 ・当初は「長岡京市第3次総合計画第3期基本計画」に記載されたものを目標指標と設定していますが、社会状況の変化等により、必要に応じてよりふさわしい目標指標に変更していきます。

## 政策1 地域福祉の推進 施策1 地域コミュニティの形成

事務事業の概要				
事務事業名称			重点テーマ	担当課
民間社会福祉活動振興助成事業			だれもが安心していきいきと暮らせる「健康・福祉」の推進	社会福祉課
予算科目		決算額(円)		
会計	款	項	目	
一般	3	1	1	1,429,000
目的				
福祉活動に関わる民間社会福祉団体の自立した育成を図ります。				
内容				
民間社会福祉団体の自主的・主体的な事業に対し、地域福祉振興基金を利用して、活動費の助成を行います。				



・当該事務事業の担当課（所属）の名称。

・事務事業の内容がわかる写真。

・目標指標に対する、各年度の目標値。  
 ・数値で表現できるものは数値で、数値で表現できないものは文で表現しています。  
 ・当初は第3期基本計画に記載されたものを目標値と設定していますが、社会状況の変化等により、必要に応じてよりふさわしい指標値に変更していきます。

・設定された目標値に対する、各年度の実績値。  
 ・数値で表現できるものは数値で、数値で表現できないものは文で表現しています。

・評価対象となる年度の実施内容。

・評価対象となる年度の、目標値や事業目的の達成状況。

検証結果等を踏まえて、目標指標や事務事業の目的を達成するための課題とそれに対する解決方法。

事務事業の目標と成果						
目標指標と実績						
民間社会福祉団体の育成が図られるよう、事業補助を希望する団体の登録数を増やします。						
現状 (計画策定時)	年度	23	24	25	26	27
9団体 (平成21年度)	目標	10団体	10団体	11団体	11団体	12団体
	実績	8団体	7団体	11団体	11団体	
平成26年度の事業内容						
・地域福祉活動の活性化、民間社会福祉活動の振興を図るため、長岡京市地域福祉振興基金をもとに、地域で活動するNPO法人やボランティア団体計11団体に対して民間社会福祉活動振興助成金を交付しました。なお、11団体のうち新規申請は2団体、前年度からの継続申請は9団体でした。 ・団体向け募集要項の作成や説明会の開催を通じて、制度の周知を図りました。						
平成26年度の達成状況						
年度目標の達成状況		達成できた（目標の100%以上）				
・補助金実績額は一団体につき約2万円から上限の30万円と様々であり、中にはボランティア活動を開始したばかりの団体からの新規申請もあり、比較的予算規模の小さい団体の福祉活動の継続に活用されるという特徴がみられます。 ・京都府の助成や補助制度の増加・継続や企業の基金の普及など、団体が活用する助成金制度の選択肢が広がっており、本事業に比べ多額の助成を実施する主体もあります。助成を受ける団体は、予算規模などにより、利用する助成金などを選択し、結果として棲み分けが行われています。						
課題と今後の対応						
・交付申請時期に合わせた団体への説明会や市のホームページ及び広報誌への記事掲載を継続して行い、助成制度の周知を図るとともに、より活用しやすい制度づくりが課題です。 ・多くのボランティア団体が社会福祉協議会の助成金を利用している状況を考慮し、ボランティアの育成やコーディネートの拠点でもある社会福祉協議会への事業委託を中期的に進めていくことが課題です。						